

H. 29
(2017年)

四月 (今月の揭示板)

真宗大谷派・願成寺

『苦惱の原因は私にある』と気づかされると救われる

辛く暗い心になる原因は①感謝の心が無く不平・不満がある、②人々に助けられている事に気づかず・自分さえ良ければよいと思う、③人と比べて妬む、④自分の体力・能力・財力などを自慢し人を軽蔑する、⑤自分の思い通りにならないと人や世間を恨む』の思考です。幸せな明るい心になれる為には、『(1)生かされて生きている事に感謝する、(2)全ての生き物の命を大切にする、(3)人々に助けられている事に気づき・お返しが済んでいない事を反省する、(4)自然の恵みに気づく、(5)食事で無数の生き物の命を奪い・人々に迷惑をかけている事に目覚める』の感謝と反省・懺悔の心が必要です。私達の『真宗』の真は「真・本当の」、宗は「要・教え」の意味です。鏡が無いと自分の顔も見えないように、自分の力では何が真実(本当)なのか分かりません。南無阿弥陀仏||ご免なさい仏様(親様)と頭が下がり、『人間は悪人だ』と目覚めることが『覚り』なのです。

主な参考資料

- ①本多静芳(講演筆録)『心を育てるー苦難を超える道』月刊誌・在家仏教2017年4月号、P. 34~52(在家仏教協会)。
②中村了権(著)『「老い」をいきる親鸞の智慧』春秋社、P. 63~78(2016年)。
③池田勇諦(著)『念仏もうして立ち上がる』大谷婦人会シリーズNo. 13、P. 7~12(2011年)。